

# 令和3年度GAP認証取得支援

## ～更別農業高等学校に対するJGAP認証取得支援～

十勝農業改良普及センター広域 情報・クリーン・有機

### 1 活動対象及び概要

更別農業高等学校がGAP認証取得を目指しており、普及センター本所地域第二係と共に認証取得支援を行った。



JGAP認証審査(12月)

### 2 背景・ねらい

農産物を生産する上で、食品安全等の確保や、より良い農業経営を実現する手法として、GAPの取組が推進されており、普及センターは関係機関と連携しGAPの取組支援を行っている。

「GAP」とは

農業において、食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取組  
(GAP: Good Agricultural Practice)

十勝管内のGAP認証取得農場数は35経営体である。そのうち、3つの教育機関がGAP認証を取得しており、授業内容にもGAPの取組が盛り込まれている。しかし、認証取得となると、教育機関単独での取組は難しく、民間コンサルタントに支援を依頼している場合が多い。



GAP認証取得経営体数の推移

今回の取組を、普及センターにおける認証取得支援事例として、普及センター内で情報蓄積を図る。

### 3 活動の経過

定期的に巡回日を設け、JGAP管理点と適合基準の読み合わせや現地の状況確認、改善提案を行った。

模擬審査では、外部模擬審査員として十勝農業協同組合連合会より出席願ひ、連携して認証取得に向けたアドバイスをを行った。

時期	内容
R2年12月	事前相談
R3年2月	初回GAP打合せ
3～12月	読み合わせ・現地確認(11回)
9・11月	公開審査見学(士幌高校・帯広農校)
11月	模擬審査
12月	JGAP認証審査
R4年1月	JGAP認証取得

### 4 活動の成果

継続した支援により、令和4年1月にJGAP認証を取得した。支援のポイントと成果は以下のとおりである。

#### (1) 認証取得の意思・目的の明確化

取組当初、認証取得の意思等を明確に共有したことで、その後のGAP取組支援をスムーズに行うことができた。

いつまでに：令和3年度末までに  
どの作物：豆類  
どのGAP：JGAP  
誰が：農業科3年生と教員が一緒に取り組む  
目的：取得後、農場運営や授業実践に活用する

#### (2) 管理点と適合基準の理解促進

管理点と適合基準の読み合わせを行うことで、農場の現状と新たに整理する必要がある項目の明確化が図られた。

主担当の教員1名が、JGAP指導員資格を取得！  
高校内での、JGAP認証の理解が深まり、取組速度もアップ！

堆肥は???  
適合基準の解釈は???



生産技術：地域係  
GAP：主査

連携して  
サポート！

### (3) 農場の整理整頓の実施

管理点と適合基準を理解したことで、倉庫内をエリア分けするなど工夫し、必要以上の経費をかけずに、整理整頓が行えた。



判りやすく中身を表示



使いやすく整頓



棚から溢れた資材

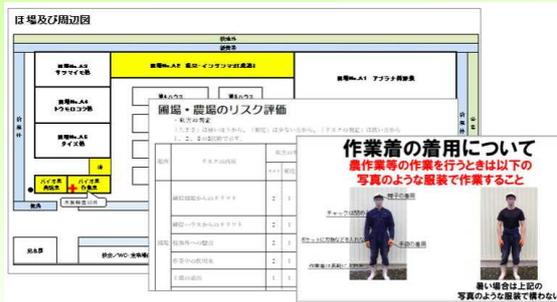
GAPには新しい倉庫や物品の購入が必要なのかと思ってたよ。



生徒が分担して、整理整頓を実施！

### (4) 帳票類の整理

GAP認証で求められる書類や農場内でのルールを確認し、帳票類の整理が行えた。また、農場内の危険箇所はどこか、リスクや対策を生徒や教員で改めて共有できた。



取り決めたルールは、文字にして共有！  
掲示物は、後輩にも伝えやすいように、写真を活用！



リスク評価を行って、農場内のどこに危害要因があり、対策はどうするか、考えるようになった。リスクを減らしていく改善も大切！

### (5) 審査に向けて

#### ア 公開審査の見学

近隣高校のGAP公開審査と一緒に参加し、審査の様子や掲示物などが確認できた。

#### イ 模擬審査の実施

模擬審査により、審査の流れを全員で確認し、本番の審査に向け、改善が必要な項目がわかった。



模擬審査

施肥設計書がファイルに綴ってない！  
審査って、けっこう時間がかかるな...

### (6) JGAP認証審査

審査当日は、審査員の質問に生徒が中心となり回答していた。他学年の生徒も見学に来るなど、学校全体でのGAP取組の後押しが感じられた。

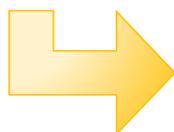
普及センターは、審査終了後、是正報告対応を支援した。



豆の袋詰めを実演



資料を提示して回答



令和4年1月  
JGAP認証取得！



JGAP認証が取れて良かった！  
これからも継続してGAPに取り組むぞ！

## 5 今後の対応

更別農業高校のGAP取組に対し、必要に応じた技術支援や情報提供を行う。

今回の認証取得支援事例を、今後の地域のGAP取組支援の参考とする。